



アイちゃん

いばらき

保育通信

No. 127

令和4年11月25日発行



茨城県保育協議会 / 茨城県民間保育協議会 / 茨城県社会福祉協議会

目 次

令和4年度 研修	1
晴れの叙勲 おめでとうございます	4
新設園紹介	6
おしゃべり Room's	10

茨城県保育協議会

〒310-0651 水戸市千波町1918
茨城県総合福祉会館 2 F 茨城県社会福祉協議会内
TEL 029-243-4034 (直通) FAX 029-241-1434
<http://www.hokyo-ibaraki.jp/>



令和4年度 研修

食物アレルギーの 食事と管理

県西ブロック

社会福祉法人 せんだんの木会

古河保育園

保育士 北 條 ひかる

私は、今回の研修で子どもと食物アレルギーについて大事なことを学びました。

まずは、日常生活で誤飲しないことや、職員同士の管理が大切であることです。

食物アレルギーとは、原因になる食べ物により、免疫反応を介して体にとって不利益な症状のことをいいます。皮膚、粘膜、消化器、呼吸器、アナフィラキシーといった様々な身体や気管が反応してしまいます。乳幼児期に発症した「卵、牛乳、小麦、大豆」が原因の食物アレルギーは、三歳までに五〇％、六歳までに六〇％から七〇％がやがて食べられるようになります。

自園では、アレルギーの子どもは、検査結果、家庭との連携のもとで給食を除去し、専用のお皿やスプーンなど、はっきりと区別できるように対策しています。そこで、調理師と保育士との連携、保育士同士の連携もしっかりしておくことが大切です。

す。子どもが食物アレルギーがあっても食べられるものを理解し、食事や生活を楽しむ必要があります。

次に、症状出現時の対応です。アレルギー反応で一番他者が気付かないものは、粘膜の症状です。口腔内違和感や喉の腫れなどは外から分かりづらく、発見するのも難しいです。さらに、アナフィラキシーショックは、アナフィラキシーによる血圧低下などで、生命に関わる危険な状態のことをいいます。いつもと様子が違う場合はすぐに疑い、アナフィラキシーショックにならないように、緊急連絡の仕方や、エピペンの使い方、職員同士の管理を普段から誰も行えるようにしておくことが重要です。

最後に、食物アレルギーをもつ子どもに楽しく食事をしてもらうため、常日頃からの管理と連携が大切です。一人ひとりにあつた食育計画が重要となると思いました。



〈こどものまつり〉



〈園舎〉

看護職員研修 を受けて

鹿嶋神栖ブロック

社会福祉法人 慈眼福祉会

認定こども園大野めぐみ保育園

看護師 小林 陽 香

今回は保育園看護師になり、初めて看護研修を受けさせていただきました。病棟勤務の際も安全管理に努めていました。しかし、保育園では対象に子どもたちが加わり、今まではない事故や怪我に目を向けなければならぬと日々の業務の中で感じていました。このような中、今回の「保育・教育の価値とリスク、深刻事故予防」についての研修はとても楽しみであり、興味深い研修でした。

研修の冒頭からまず、「価値とリスクを考えると判断することで、必要な怪我であったかを見分けることができる」という考え方が、私の中であった「怪我＝必ずあってはならない事」の固定概念が変わりました。子どもは体を動かせるようになるからこそ怪我し、そこから子ども自身が学んでいくため「怪我」は子どもの成長には重要なもの、すなわち「価値」であることを学びました。しか

し、学んでいる最中の怪我とは言え、痛みや怖さを伴う事であるため保育者は責任を強く持たなければならぬと感じました。「以前大丈夫だったから」この考えは実際に私も業務の中で判断材料としていた一つの考え方になっていました。その時の状況が以前と全く同じではないのに、同じ考え方で判断をしたことで深刻な事故に繋がってしまうリスクを重く考えられていなかった自分に怖さを感じました。その時に思ったのは、判断に迷ったり疑問に思ったら、迷わず聞くことの大切さです。しかし、聞かなければならないと分かっているにもかかわらず、業務中で聞きづらいう状況等も時にはありました。もし事故が起こってしまったら、あのとき聞かなかった自分もそうですが、言ってもらえなかった職員も心も壊れてしまうと思いました。そのためにも、日々の職員間の声掛けや言える環境づくり、インシデントの共有が大切だと思いました。また、共有してからの出来事の検討が事故予防につながり重要であると思いました。

また、看護師であるからこそその知識は積極的に共有していきたいと思っています。転落時や骨折時等の対応に、迷ってしまったら、冷静に対応できる自信がない職員が意外にも多

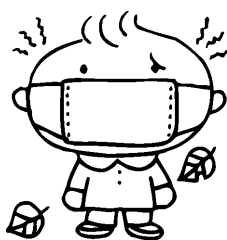
いことを知りました。

今回の研修を振り返り私の中で強く感じたのは、保育の質をあげれば自然と怪我や事故は予防できるということだと思います。園全体が同じ責任意識を持ち、一丸となることが重要であると感じました。園（＝他人の子どもの命を仕事として預かる専門職）の責任を共通理解し、日々の保育をしていきたいと思いました。また、この学び自体を共有し子どもたちにももちろん、一緒に働く職員も守っていったら一番だと思いました。

今回この研修に携わって頂いた関係者様、掛礼先生、ありがとうございました。



〈子どもの安全を願って〉



〈白砂青松の鹿島灘に面する自然豊かな保育園です〉

看護職員研修 を受けて

稲北ブロック

稲敷市立認定こども園えびさき

保健師 埜 弥生

この度、園に研修についての通知が届きました。今回の研修である「看護職員研修」の通知です。私はこども園に配属になり、自分の持つ看護の知識や他の先生方に助けられながら日々子どもの手当をしてきました。しかし、「手当の仕方はこれで良いのだろうか」「あの時の対応は間違っていたのだろうか」と思う場面は何度か出くわし、ふさわしい対応の仕方を改めて学ぼうと思いい研修を受けることとしました。

私は今回の研修で初めて掛札先生のお話を聞きました。身振り手振りを加えたお話の仕方、実際のガイドラインに触れた事故や怪我の話、怪我の結果が全ての行動をやめにする要因ではないなど、普段保育に関わる部分が少ない分、新鮮さを覚えめました。また掛札先生のお話の仕方は頭の中に残りやすいことが印象に残りました。

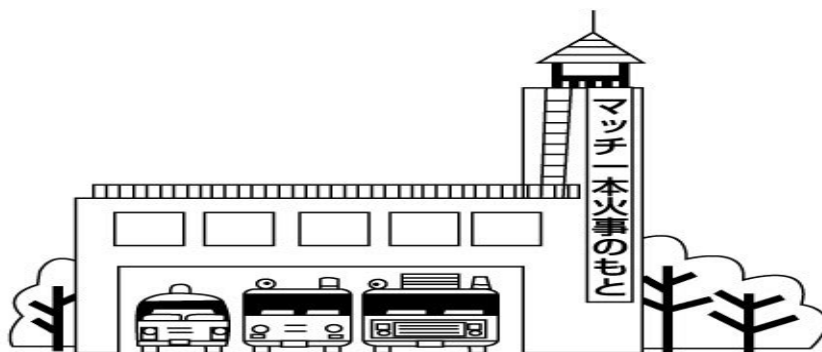
今回の研修の中で今後に生かしていける言葉としては「迷ったら迷わ

ず受診・救急車・心肺蘇生」という言葉と「あたまとおなかは病院受診する」という言葉です。熱性けいれんなど病院での緊急の診察を必要とする事例以外は、公用車で病院まで連れて行き、保護者と合流するという流れが当園では多くありました。先生のお話を聞いて、救急隊員に処置をお願いするということも適切な行動であると思いました。また、首より上の怪我は病院受診することも多いが、お腹を怪我する子どもは当園での事例が少なかったため、腹部の怪我での受診については盲点でした。これからのような事例に出会った際には状況を加味しながら、適切な処置を行いたいと思います。

約一時間という短い研修でしたが、貴重なお話と新たな学びを得ることができました。今回の研修で学んだことをこれからの現場で生かしていきたいと思えます。コロナ禍でお忙しい中、貴重な研修を実施して頂きありがとうございます。



<子どもたちの健康を守っています>



叙勲

晴れの叙勲
おめでとうございます

春の 叙勲を受けて

水戸ブロック

社会福祉法人 白光福祉会

すみれ第二保育園

理事長 石橋 豊美

四回目のコロナワクチン接種を受けた日に、この原稿依頼が届いた。文案を考えている内に、副反応の高熱・節々の痛みが襲ってきた。またまらない頭の中には、お世話になった恩師、若くして逝った同僚、支えてくれた仲間、家族の様々な出来事が次々と浮かんだ。県保協で役員をしていた時の思い出もあった。編集長として「新保育の手引き」「子育て支援の手引き」を発刊した事、その時の仲間。実行委員長として第五十八回関東ブロック保育研究大会を皆とやり遂げたことなどなど。

体調が戻ったのは翌日の夕方。やっと考えをまとめる元気が出た。何をするにも健康第一。まずは丈夫に産み育ててくれた親に感謝。そして支えてくださった全ての方に感謝。

自分のやれることをひたすら続けて来たことで瑞宝双光章という栄に

浴す事となった…といっても叙勲を
目指して働く方はいないと思うが、
少しでも皆様の励みになれば有難
い。

コロナ禍で研修や交流の機会が大
幅に減っている。しかし子どもたち
は日々成長していく。どのような状
況下でも保育者はより良い保育を目
指さねばならない。今後も体力の続
く限り後進の育成に努めたいと思
う。それが叙勲というご褒美に対す
る私なりの向き合い方である。



〈春の叙勲を受けて〉



叙勲を 受賞して

県西ブロック

社会福祉法人 長須福祉会

認定こども園すずのき

主幹保育教諭 川 田 知 代

この度、私は思いもよらず、児童福祉功勞による瑞宝単光章受章の榮に浴し、身に余る光榮に心より感謝いたしております。去る五月九日、県庁にて大井川茨城県知事より勲章の伝達を受けることができました。昨今の状況により皇居にて天皇陛下に拝謁する榮譽を賜る機会は延期されております。私はこれまでめざましい功績や活躍をしたような覚えはありませんでしたので、自分がこのような章を頂けるとは夢のようで信じられないと思います。

四〇年前、私は現在の認定こども園すずのきの前身であるすずのき保育園に就職いたしました。何もわからない私を当時の理事長先生、園長先生、先輩の先生方は、優しく熱心に指導し育ててくださいました。またお互いを成長し合えるような素晴らしい職場の仲間に出会い、恵まれた

環境のおかげでこの仕事を続けてこられたのだと思います。お世話になった皆様に感謝の気持ちで一杯です。四〇年間と聞くと長いようですが、毎日が新しい発見や充実感、楽しさの連続で、私の感覚ではあつと言う間でした。かつての園児が親となり二世代に渡り園児になってくれる嬉しさや、卒園児が保育者になり一緒に働ける喜びなど夢のような幸せな機会にも恵まれました。

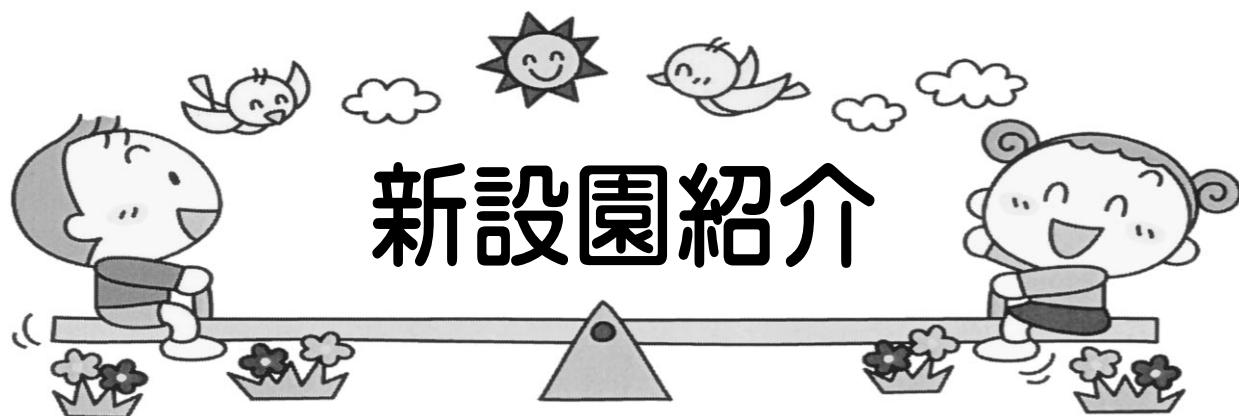
今回の叙勲受章に際し、私を推薦しご尽力下さった皆様、受章を喜びお祝いしてくださいました皆様、本当にありがとうございます。今後もお世話になった皆様方に恩返しができる

るよう、これまでの経験を活かし一層精進してまいりたいと思います。そして、叙勲という素晴らしい章に恥じないよう、保育のために貢献していきたいと思っております。



〈叙勲を受賞して〉





新設園紹介

鹿嶋神栖ブロッコ

社会福祉法人 翔天会 （かみかぜの会）

実りの木保育園

園長 宮作

清

本園は、令和三年度四月に鹿嶋市に開園しました。園名の「実りの木」には、しっかりとした根を張り、小さな枝木が幹を太くし、枝葉を広げ、やがて個性豊かなたくさんの実を实らせるように、子どもたちがたくさん遊んで、たくさん食べて、たくさんの人と関わっていく中で心も身体も個性豊かに育ってほしいという想いを込めています。

園の周辺には雑木林や畑があり、四季折々に咲く美しい草花に囲まれています。園舎は、木のぬくもりを感じる造りで、天窓から光が差し込むホールは、子どもたちが自由に遊具や玩具で遊んだり、誕生会や発表会を行ったり、給食時にはランチルームとして活躍しています。園庭は、様々な種類の木々に囲まれたタイヤの丘や、自由に遊ぶことができます。今年度の春からは畑を作り、子どもたちは土や虫と触れ合いながら、育てた野菜の収穫を楽しみ、そして食べる喜びを感じています。

保育理念である「子どもが安心して生活し、自ら考え、工夫する学びの芽を育てる」ための環境を整え、保護者には園での様子を丁寧伝えながら、保護者と保育者が一緒に子どもを育てるパートナーとしての役割ができるよう、話し合いを重ね、より良い保育の実現に努めてきました。コロナ禍で行事は計画通りに行きないこともありましたが、保護者のご理解の元、温かい雰囲気の中で子どもたちが楽しみながら取り組みたことは、大変嬉しく思います。

昨年度は、地域の方々との交流ができないことが課題でした。今年度は地域支援として、支援室や園庭の開放を始めました。地域の親子が集まる憩いの場、子育ての悩みを相談し合える場として、一歩前進したところです。

子どもたちの健やかな成長を見守りながら、保育者・保護者・地域の方々と共に子どもの育ちを喜び合います。共に成長できる園を目指していきます。今後とも皆様のご指導をいただきながら、地域に開かれた園として、地域に貢献していきたいと思っております。



〈自然に囲まれた園舎〉



〈可動ブロックで遊ぶ子どもたち〉

土浦ブロック
 社会福祉法人 つほみ会
 LIFE SCHOOL 阿見
 園長 阿部 由里

LIFE SCHOOL 阿見は今年4月に開園しました。

荒川沖からまっすぐ伸びる道路沿いにあり、敷地に入るとシンボルツリーの大きな木が、子どもたちを迎えます。一瞬「保育園なのか？」と考えるしまう、うろこの館のような園舎は道ゆく人が「ここはなんの施設ですか？」と尋ねてくるほどです。平屋の三棟からなるLIFE SCHOOL 阿見は、園舎をぐるっと園庭が囲み、まるで森の中にあるような気持ちになる自然豊かな保育園です。

保育園を取り囲む園庭は二ヶ所あります。一つはアスレチックの園庭、もう一つは広場の園庭です。アスレチックの園庭には、木でできた滑り台やブランコなどがあり、森の中で思い切り遊んでいるような感覚を味わうことができます。広場の園庭は、泥遊び場があるだけで、そのほかには何もありません。しかしそこには背の高い草木やクローバー、シロツメクサが生え、虫やカエルがたくさんいます。子どもたちは虫を追いか

けながら、まるで園庭を探検するように駆け回って遊んでいます。

私たち社会福祉法人つほみ会では、「子どもの主体性」を大切にしています。それは単に子どもを自由にすればいいということではありません。保育園は子どもたちにとって、遊びの場であり、生活の場であり、学習の場です。どんなことにも興味を持ち、子どもたちの「やってみたい」を引き出す保育を私たちは目指しています。

そんなLIFE SCHOOL 阿見での取り組みを少しだけご紹介いたします。乳児クラスでは育児担当制を取り入れて保育をしています。いつでも安心して決まった大人が育児を行うことで、安定して生活することができます。また子どもたち一人一人の発達をきちんと把握するためにも、育児担当制は大切だと考えています。少しずつでも子どもたちは「成長」しています。そんな些細な成長を見逃さず丁寧に関わることが必要不可欠だと思っています。幼児クラスは、異年齢混合クラスで生活しています。特に幼児期において、少し年上の子に憧れを持ったり、少し年下の子に思いやりを持ったりと、多様な人間関係の中で子どもたちは成長していくと考えているからです。

ご紹介はここには書ききれませんが、関係機関や同じ地域の保育園の皆様と協力しながら運営をしたいと思っておりますので、これからどうぞよろしく願います。



〈広場の園庭〉



〈木造平屋の園舎とアスレチックの園庭〉



水戸ブロック
 特定非営利活動法人
 子育て支援グループひまわりのお家
 笠原ひまわり保育園
 主任保育士 伊藤彩子

本園は、特定非営利活動法人子育てグループひまわりのお家を母体とする、令和四年四月に開園した認可保育園です。水戸市内では初めてのNPO法人による保育施設となります。水戸市笠原町の住宅街の中であり、花や緑に囲まれたちいさな保育園ですがその歴史は長く、平成九年四月に託児ルームひまわりのお家としてスタートしてから、保育事業をはじめ児童発達支援、放課後等デイサービス、啓発事業（発達障害児支援講演会、学童余暇活動、子育て支援）などを進め、二十五年間歩んできました。

保育方針は「生きる力を育む」。ひまわりでは、子どもたちが太陽のもとで、四季折々のさまざまな自然とふれ合い、遊び、満足感や充足感を味わいながら心身ともに成長していく保育を目指して、通年のどろんこ遊びやリズム遊び、ムーブメント教育・療法などを取り入れていきます。裸足になり、五感をたっぷりと使って遊ぶことで脳への刺激を促

し、また、大人も子どもも共に学びながら成長し合える関係でありたいと考え、職員を「先生」と呼びません。互いに、相手の存在を尊敬・尊重して認め合うことで、自己肯定感が高まるからです。

さまざまな遊びや活動において大人も子ども「楽しい」ことが大好きです。大人に指示されなくても、子ども自身が「楽しい」を見つければ、必ず夢中になります。一見、リズム遊びやムーブメントなど一律に揃うことをしているのでは？と思うかもしれませんが、強制をしなければ、楽しいと思った時、自然と子どもたちが集まり、夢中になり、その遊びの中で学び、仲間とともに喜び合うことができます。基礎となる身体の発達を促す活動を取り入れながら、子ども自身が選ぶことで心身ともにしなやかさを培っていきます。そしてそれらが後々の生きる力へと繋がっていくのです。

最後になりますが、認可保育園に移行し、スタートしてからまだ半年です。これまでのひまわりに携わってくれた多くの方々のあたたかいご支援のもと今があります。これから歩みを進め、未来を生きていく子どもたち、保護者の方々のために邁進してまいります。ご興味のある方はぜひ本園にお越し下さい。いつでもお待ちしております。



〈園庭でのひととき〉



〈アットホームな園舎〉

つくばブロック
 社会福祉法人 照桑福祉会
 ルンビニーみらい保育園
 主任保育士 飯塚 むつみ

ルンビニーみらい保育園は、社会福祉法人照桑福祉会が運営する六番目の園として、令和三年四月一日、つくばみらい市に開園いたしました。つくばエクスプレスみらい平駅が近く利便性も良く、また一歩離れると田畑もあり自然豊かな場所である年々人気が高まっているところです。

二階建ての園舎は一面ガラス張りになっており、とても開放的で、そこから見える園庭はとても広く、子どもたちの大好きな場所のひとつでもあります。毎日楽しそうな声が響き渡っています。また園舎のまわりは全部芝で囲まれており、中でも子育て支援センターはウッドデッキがあり、地域の方や子育て中のお母さんたちがお子さんを連れて一緒にしゃべりをしたり、相談したり、子どもたちを遊ばせたりと、ゆつくりとくつろげるアットホームなスペースとなっております。

全国的な新型コロナウイルス感染拡大により、先行きの見えない状況でのスタートとなりましたが、その

中での様に「遊び」や「学び」を位置づけていくか、また園児一人ひとりが楽しむことができ、保護者との信頼関係を少しずつ深め、色々な活動に取り組むことができる様、職員が一丸となって努力してまいりました。コロナウイルスの状況により行事もなかなか計画通りにいかない事もありましたが、子どもたちももちろんの事、保護者の方々にも楽しんでもらえるにはどうしたら良いか職員同士が話し合いを重ね、動画配信や写真の掲示などをする事で、保護者と情報を共有できるようにしてまいりました。

ルンビニーみらい保育園は、幼保連携型認定こども園ルンビニー学園と姉妹園となっております。お互いの協力を体制を整えております。その時その時を大事に未来に続く大切な芽を育て、一人ひとりの持っている個性を大切に、そして様々な体験を通して豊かな心が育っていきける様、目標をかがげております。

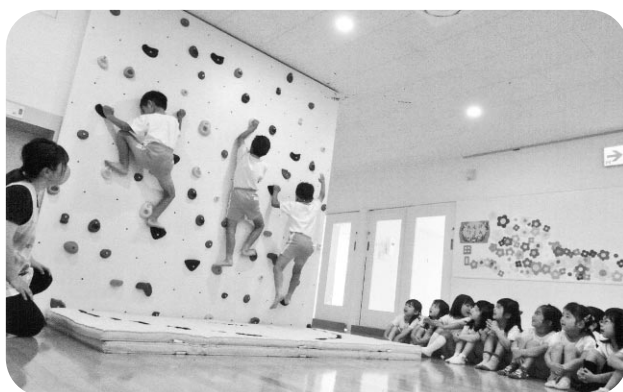
新規開設園ということで、まだまだ手探りで行き届かない所もありますが、職員一人ひとりが使命感を持ち一丸となって一生懸命頑張っております。可能性をもったかわい子どもたちの芽が伸びる様、摘みとることのない様チームワークを組み、誇りを持って働ける様、質の高い働



〈開放的な園舎〉



きやすい職場づくりに力を入れております。
 地域の中で皆に喜んでいただける様、子育ての応援隊として、また学び舎として発信したりと行政とも連絡を密にし、未来の子どもたちのために選ばれる園づくりをしていきたいと思っております。

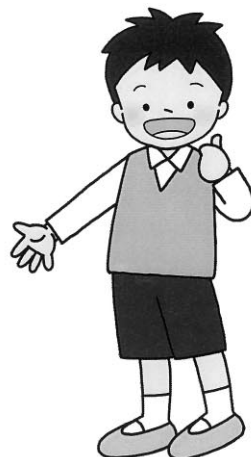


〈園舎内での体力づくり〉





おしゃべり Room's



おもちゃのH.U.ヘッド

進級して2才児クラスになり、園では任意でマスクの着用をするようになったYちゃん。マスクをとらずに上手につけているのですが、なぜか気づくとマスクがおでこに。「マスクしてね」と伝えると直してくれるのですが、その行動がなぞでした。

ある日、牛乳を飲むときにふとYちゃんをみるとマスクがおでこにあり、そこで理由がわかりました。マスクははずしちゃういけないけど、牛乳が飲みたかったYちゃんが考えた行動だったのです。Yちゃんなりに約束を守るうとしている姿にうれしくなりました。「牛乳を飲むときははずしていいよ」と伝えると、はずすようになりました。今の現状ならではのマスクエピソードでした。

(筑西ブロック もーちゃん)

保育所の近くにいる白鳥を見に行きました。白鳥にあげようと、煮干しを持って出発しました。「白鳥いるかな」「お昼食べるかな」とワクワクしながら歩きました。

到着すると、いました!!白鳥です。水面をスイスイ泳いでいる白鳥を見て、子どもたちも「おぉー」「たくさんいたね」と大喜びです。少し近

づいて、みんなでエサをあげようと「びっくりしちゃうからそつとね」とゆっくりゆっくり行きました。そのとき、いつも元気なKちゃんが、「アヒルさーん。こっちおいでー」と大きな声で呼びました。白鳥たちは、スーッと離れて行きました。元気にアヒルと呼んでいる姿に、皆で大笑いしました。

(常総ブロック だんご虫)

トイレトレーニングでのエピソードです。2歳児クラスのAくんは、トイレに行く事を嫌がり、毎日泣いてしまう事があったが、ある日をきっかけにトイレに行く事を嫌がらず、順調にトイレトレーニングを進める事ができるようになりました。

進んでトイレに行く子の姿を見て、排泄が出来た時に保育者と喜び合い、ハイタッチをする姿を見たり、進んでパンツやズボンをはいている姿を見て、「僕もトイレに行く。先生とタッチ」と言いながら、進んで行こうとする姿が見られるようになりました。

小さなきっかけが、その子にとって、大きなきっかけになったように感じました。

(水戸ブロック 阿久津 美智子)



2歳の女の子、Yちゃん。オムツにおしっこが出ていたので、「オムツ交換しようか。おしっこ出たのね」と声掛けると「そうね」と言いながら、自分でズボンとオムツを脱いでいました。新しいオムツを渡すと、片手でそのオムツをフリフリと振ってみせて「じぶんでこれ、はいちゃうから、せんせいまっていてね」と。その行動と大人びた口調に、思わず笑ってしまいました。そんなにお口が上手なのに(笑)一生懸命、ひとりでオムツとズボンを穿いている姿にほっこり。幸せな時間がありました。

(水戸ブロック 藤浪 直子)

七五三の前撮りに行った娘は、スタッフさんに着付けやヘアメイクをしてもらい、緊張の中で写真を撮ってもらいました。撮影を終え、帰宅後に化粧をしていないパパを見かけると「パパ来て」と誘い何が始まるのかと見ていたら、パパにヘアメイクして七五三ごっこをしました。すぐにアレンジして、遊びにつなげてしまいう娘に関心させられました。

(水戸ブロック 永山)

保護者支援の事例

離乳食について相談を受けたことがあります。集中して食べない、すぐにべーっと舌で押しつけて嫌がる、食べても2〜3口がやっと、とのことでした。「フォークやスプーンを持たせてあげると少し気分転換になるかもしれないね」とアドバイスをしました。すると、以前とは様子が変わり、ニコニコしながら食べてくれたそうです。お母さんは他の子は皆食べているのに。と焦りと悲しさがあつたようです。少しのことで食べるきっかけの一つとなり、私は素直に嬉しく思いました。発達に違いがあるのと同じように離乳食の進みも様々だと思えます。一人ひとり寄り添って支援していくことは改めて大切なと感じることができました。

(水戸ブロック 浅倉 美香)

この手紙って読みますか？クイズ

①背黄青鸚哥

ヒント・カラフルな鳥

②躑躅

ヒント・四月〜五月に咲く花

③総絵

ヒント・総絵のしっぽと読む

④錠

ヒント・大工さんが使う!?

Eテレの番組で曲に合わせて歌っていました。不思議な曲と歌詞に思わずテレビの前に立ち止まって見てしまいました。少し勉強になった気がします。みなさんもぜひ、面白い漢字見つけてみてください。答え①セキセイインコ②つつじ③ふさふさ④かすがい。

(水戸ブロック 中島 和代)

おすすめ手作りおやつ

◆ちんすこう◆

〈材料〉4人分

- 小麦粉 60g
- 黒砂糖大さじ1
- サラダ油小さじ2
- 塩ひとつまみ

〈作り方〉

- ①全ての材料を混ぜ合わせます。
 - ②好きな形にして200℃のオーブンで8分程焼いたら完成です。
- ※冷めてから触ります。

(取手ブロック 入江 愛)



◆ホットケーキの簡単デコレーション◆

いつものホットケーキにちょっとした手間をかけただけで、楽しくなります。

〈作り方〉

①粉糖で!

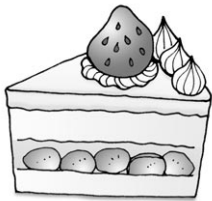
焼き上がったホットケーキの上(粗熱が取れてから)好きな型を置いて、上から粉糖を茶こしで振るだけ。型はずせばすてきな模様のできあがり。

②お絵描きで!!

絞り袋を使ってフライパンに生地を細く絞り出して絵を描き、強火で焼く。絵に焼き色がついたら、その上から生地を流して火を弱めて焼く。焼き色に濃淡がついて絵柄がハッキリ出ます。

世界に一つだけのオリジナルホットケーキ。お試しあれ!

(水戸ブロック 生天目 恵美子)



◆だんごを作ろう◆

〈作り方〉

①ボウルに白玉粉を入れ、少しずつ水を入れ、耳たぶくらいの固さになるようによくこねます。

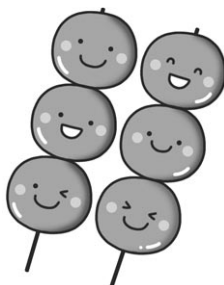
②親指大くらいの大きさにちぎって丸めます。

③鍋にお湯を沸騰させ、丸めただんごを、そっと入れます。

④だんごが浮き上がってきたら、ざるにあげます。

⑤砂糖、しゅうゆを適宜入れ弱火で煮つめ、とろみをつけてでき上がりです。

(水戸ブロック 太田)



おでかけスポット紹介

★二十三夜尊桂岸寺〈水戸市〉

茨城県水戸市にある「水戸谷中の二十三夜尊」の愛称で親しまれるお寺です。開山や一六八二年(天和二年)一八七八年の火災によって旧伽藍は焼失しましたが、その後、本堂と仁王門、愛染堂などが再建されました。本尊である勢至菩薩は行基の作、佐竹貞義の護持仏です。

隣接する庭園「保和苑」には昭和三十年代、苑を拡張してあじさいの植栽が行われました。初夏になると苑内に約百種六千株のあじさいが咲き競い、「水戸のあじさいまつり」が盛大に開催されます。きれいです。

縁結びや金運、合格にご利益があるとされるパワースポットでもあり、見学無料なので行ってみたい？

(水戸ブロック 吉田 孝子)

★逆川緑地公園〈水戸市〉

一・八キロメートルの周遊コースは一部逆川にも沿っており、もみじ広場には遊具やトイレもあり、存分に身体を動かして楽しめる公園です。自然ふれあいの池で

は、ザリガニ、カエル、トンボ等の生き物にも触れることができ、緑地である自然が豊かであるため色々な昆虫にも触れることができます。アスレチックももみじ広場や自然ふれあい池も全て周遊コースの中にあるので徒歩で移動でき、駐車場に降りたら何度も車を移動せずに済みます。川のせせらぎや、鳥のさえずりを耳にしながら自然に触れて身体を動かすのも気持ち良いと思います。

(水戸ブロック 高倉 久美)

★県立鹿島灘海浜公園

入口は五十一号沿いにあり、小さな道の駅のような売店には、野菜やおにぎりなどの軽食があります。近くの公園に、芝すべりが出来るスペースもあり、芝の山を登ると海が見えます。お散歩コースを歩いていくと、海まで行け、気持ちの良い風が吹いて景色も良く、小さな子どもから大人まで楽しめる場所です。

(水戸ブロック 中村 由美子)



★笠間中央公園〈笠間市〉

笠間市には、笠間芸術の森公園や北山公園など公園がたくさんありますが、今回紹介するのは、友部の畜産試験場跡地にできた笠間中央公園です。昨年の秋にオープンした公園で、大型のコンビネーション遊具、チューブ型、幅広すべり台、ターザンロープがあります。また、小さなお子さんも安心して遊べるようにブランコは椅子型になっていきます。芝生エリアもあるので、ボール遊びやピクニックをしている家族もいます。公園の周りは、歩行用に舗装されているので、ウォーキングをしている高齢者の方もいたり、幅広い年齢層の方が利用しています。移動販売車も来ているので、小腹が空いても安心！

(水戸ブロック 佐藤 陽子)



★静峰ふるさと公園〈那珂市〉

日本のさくら名所百選地とし、広々とした園内には、ソメイヨシノ、ツツジ、芝桜など色々な種類の花が咲いています。春の時期には、お花見をしてもよし、公園もあるのです、子どもたちも喜んで遊んでいます。また、夏になると水遊びもできます。

(水戸ブロック 蘭部 彬)

★日立御岩神社〈日立市〉

ある日、宇宙から見えた光の柱が日立の御岩神社にあったそうです。その時からパワースポットと言われるようになり、人気になりました。私も行った事があります。静かで落ち着きます。毎週火曜日に野菜の直売を行っているようです。近くに豆腐屋さんがあり、その「おからドーナツ」が私は好きなので、寄ってみて下さい。

(水戸ブロック 高木 悠花里)



おすすめ絵本の絵本

0歳〜2歳

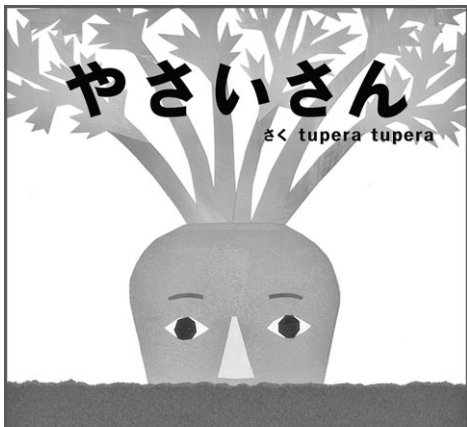
しかけ絵本「やさいさん」

作・tupera tupera

(亀山達也・中川敦子)

この絵本はしかけになっていて野菜が隠れています。読み手がしかけをめくると、土の中からさまざまな野菜たちが姿を現します。「すっぱーん」言葉に合わせてめくると子どもたちは声を出して喜んでくれます。楽しみながら野菜を覚えることができ良いです。「やさいさん」の他にも、「くだものさん」や「ぼうしとつたら」というシリーズがあるのでそれぞれに楽しめます。

(水戸ブロック 深澤 沙也佳)



「ありがとうとま」と

作・わたなべ あや

木から下りられなくなってしまうブロッコリーちゃん、どろんこになってしまったいこんちゃん。お助けヒーローのトマトマンが困っている野菜たちを華麗に助けるお話です。助けてもらったなら「ありがとうとま」と言ってみよう。感謝の気持ちを伝える大切さを教えてくれる本です。

また、沢山の野菜が登場するので食育にも繋がります。給食前に読み、献立に入っている野菜を紹介するのにとてもよい教材となっています。

(取手ブロック NANA MI)



3歳〜5歳

「こんなかいじゅうみたことない」

作・絵 藤本 ともひこ

このお話は怪獣Ⅱ暴れ馬のような考えの親怪獣とそれに反した、お利口な子ども怪獣とのやりとりから始まり、後に子ども怪獣が保育園に通い始めたくさんの友達と出会い、たくさんの経験を経て、優しさや楽しく自分らしく生きる喜びを見つけていくものです。

視野を広げて様々な世界を見て、人との触れ合いを感じたり、もっと自由に自分の好きな事や楽しいと思える事を見つけてほしいというメッセージ性を感じ、我が子にもその大切さを絵本を通して伝えたいと思ったので選びました。我が子も大好きな絵本です。

(水戸ブロック 佐藤 さおり)



「でんしゃずし」

作・丸山 誠司

子どもが大好きな「電車」と「回転寿司」が組み合わさったユニークな作品です。

お父さんと男の子が入った「でんしゃずし」では、回転寿司でお寿司を選ぶように、電車の椅子や窓、外装を選んでいきます。その電車に乗って行く先は、なんとお月さま。自分で作った電車に乗って、実際には行けない場所へ行く、現実では絶対に行けない不思議な世界観に引き込まれていきます。

この本を読むと、自分だったらどんな電車にしようかな？と、どんなイメージが湧き上がってきます。ぜひ、親子で読んでほしい作品です。

(水戸ブロック 井上 理恵)



「ショートケーキになにのせる」

作・絵 おおの こうへい

一つしかないショートケーキを、お兄ちゃんと妹が半分こしたい…悩んだ二人は一つしかないいちごの代わりに何か違うものに乗せてみようと思ひ立ちます。思いつくものは赤いけれど全然ケーキと合いません。トマト・とうがらし・だるまさんなど子どもたちが想像し、反応する姿もおもしろく、楽しめる一冊です。

(取手ブロック ほー)



大人におすすめ

「保育者のためのアンガーマネジメント入門」

著・野村 恵理

怒りと上手に付き合う心理トレーニング(アンガーマネジメント)について、わかりやすく書かれています。基本的な考え方に加え、保育の一場面を事例としてNG対応と適切な対応例が学べます。

最近イライラして余裕が無かったついで子どもに怒ってしまった。読むと、そんな怒りにさよならできます。

(水戸ブロック 梅本)



思い出の本

「畑の達人」

著・麻生 健

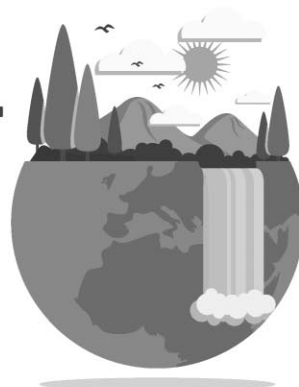
若い頃は畑で作物をしたいと考え、育てても終わり、手作り野菜を作ったみたいという気持ちを持つようになっていました。母親に聞きながら、一緒にしたり、自宅で行ったりをしていましたが、いざ母が亡くなってしまふと、「あれ、この時はどうする？」と思う時が増えました。そんな時、母の愛用していた、この本が出てきて、今はその本を開きながら、野菜を育て、母と一緒に育てていた頃を思い出しています。

(水戸ブロック 田邊 典子)



Save the earth with eco.

エコで地球を救う。



茨城県保育協議会ではデータベース、ホームページの管理の他に社会に貢献すべくエコ活動に取り組んでいます。今年度も引き続き、てんぷら油等の廃油の回収に力を入れていきますのでご協力の程、よろしくお願いいたします。

廃油の回収について

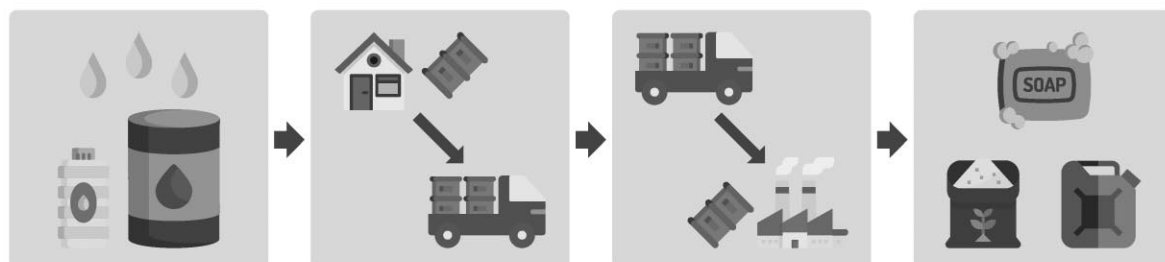
てんぷら油等の廃食用油が対象となります。
機械油、鉱物油は対象外です。

回収方法



- ① 18ℓ～20ℓのペール缶、アルミ缶の容器を用意いただき、回収ボックスを設置してください。
- ② ペットボトル等でお持ちいただいた方には容器に移していただきます。
- ③ 2～4ヶ月の周期（ブロックごと）で回収業者が各所・園を巡回回収します。容器がいっぱいとなった場合は業者に連絡すれば回収に来てくれます。
- ④ 保育所・認定こども園等が出る油だけでなく、保護者や地域の方々にもお声をかけていただくと効果的です。
※飲食店などには直接業者が回収に伺います。

廃油リサイクルの流れ



各家庭、保育所等が出た廃油
(廃食用油)

業者が回収

(原料油となる)

工場に搬入され
製品(ペンキ)になる

回収業者・連絡先

ハセップ茨城 代表 湯浅 清二
茨城県ひたちなか市田中後5-7-102
携帯電話：090-8598-1350

主催：茨城県保育協議会

廃油の回収FAX申込書

必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。
申し込み後、下記の業者より連絡または問い合わせさせていただきます。

[提出日]

[施設名]

[代表者名]

[住所]

[電話]

[FAX]

[担当者名]

ハセツブ茨城 代表 湯浅 清二

Fax.029-263-5515

編 集 後 記

昨年度より、保育通信の編集に携わらせて頂きました。

初めは何もわからずに不安ばかりでしたが、だんだんと一つの作品を作り上げていく楽しさを味わえるようになっていきました。

寄せて頂いた原稿は、コロナ禍の今ならではのエピソードもあり、考えさせられることも多かったです。

少しずつ緩和されてきましたが、一日も早く平穏な生活が送れるよう祈るばかりです。

会員の皆様、原稿のご協力ありがとうございました。

E. I



赤い羽根
共同募金

この保育通信は、共同募金分配金をうけて作成しています。

笑ってあげなさい。

笑いたくなくても笑うのよ。

笑顔が人間に必要なの。

マザー・テレサ

毎号、綴込んで保存してください。

各職員に回覧してください。